

日本ペイントコーポレートソリューションズ株式会社

品川区立中学校の職場体験に協力

品川区立日野学園 8 年生の職場体験を受け入れました。
当社のショールームでは建築、自動車、大型構造物、鉄道車両や大型機械、船舶などの幅広い分野で、用途に適した性能の塗料があることを説明した後、塗装体験において下地作りから、マスキング、塗装、乾燥まで全ての工程を体験して頂きました。
また、静電気が起因する危険物火災を防止するための講習会では、静電気発生装置を使用した爆発実験等を行い、危険物の正しい取扱い方を学んで頂きました。



日本航空株式会社

JAL 空育®による子どもたちとのふれあい

当社では、次世代育成プログラムとして空育®を開催しています。
オンラインや、実際に品川区の保育園や小学校へお伺いし、空の仕事の内容や楽しさをお話しすることで、子どもたちが未来を考えるきっかけづくりを行っています。また、親子や友達と遊ぶことの楽しさを実感していただくワークショップとして、JAL 折り紙ヒコーキ教室も開催しています。



日本生命保険相互会社 東京ベイエリア支社

「最も身近な生命保険会社でありたい」という 想い込めた社会貢献活動

毎年がんの早期発見に向けた、がん検診の受診の推奨等の営業職員の啓蒙活動を実施しております。また、10-11 月は乳がん検診の推奨月間と位置づけ、全職員ピンクリボンを着用し、お客様のもとに足を運んでおります。上記に加えて、スポーツを通じた青少年の育成、健康づくりの観点から、桐生選手のかけこ教室や野球教室を行うなど、地域に根差した取り組みを行っています。



989-22-214

日本たばこ産業株式会社 東京支社

地域の清掃活動を通じて環境美化に努めています

JT では地域の皆様やたばこ屋さんと一緒に定期的に駅頭などにおいて清掃活動を行っております。私たちは、清掃活動を通じて捨てないことの大切さやマナーを広めたいと考えております。また、私たちは自治体、学校、ボランティア、各催事の実行委員会や協働団体など、様々な人々とゴミを拾う活動も実施しております。
清掃活動以外にもボランティア森林植樹活動や NPO 助成事業 (SDGs 貢献プロジェクト) 等、様々な活動へ取り組んでいます。



ニューオータニイン東京 (HRTニューオータニ株式会社)

しながわ寺子屋

ニューオータニイン東京では、2011 年から区内の中学校を対象とした「しながわ寺子屋」に協力しています。クイズ形式でホテルの概要等を説明したりすることで、仕事を通じての社会貢献や学びについてお話しています。生徒たちの身近であるサービス業の現場の話を通して、今後の進路や職業観に繋げていけるように今後も活動に取り組んで参ります。また「しながわ職場歩き」の受け入れも行っております。



ネットワンシステムズ株式会社

心豊かな地域社会実現のための活動展開

品川区内の社会福祉法人や NPO のご協力のもと社内イベントの開催や、物品の寄贈、社員のボランティア活動支援など、年間を通して多様な取り組みを実施しています。次世代を担う子ども達の育成支援では、昨年度はオンラインでの実施によりコロナ禍でも地域を問わず全国の中学生に ICT の紹介や、将来に向けたキャリア教育をサポートしました。



野村不動産ソリューションズ株式会社

高齢者等地域見守りネットワーク事業

野村の仲介+「五反田センター」と「大井町センター」と「旗の台センター」は、「高齢者等地域見守りネットワーク事業」に参画しています。

当社のお客様にはご高齢の方も多くいらっしゃいますので、お客様訪問の際に「新聞や郵便物がたまっている」「TVの音がするのに応答がない」などの異変を察知した際は、すぐに区に通報し適切な対応につなげます。

日々の業務を通じて見守り活動を積極的に行い、品川区の目指す「いつまでも安心して暮らし続けられる社会」の実現に寄与し、また、地域の皆様への社会貢献活動の場にも積極的に参加してまいります。



株式会社バルカー

地域社会の一員として、豊かな街づくりに貢献します

バルカーグループでは、長年にわたるスポーツ振興支援のほか、良き企業市民でありたいとの思いから「地域社会に対する感謝の日」を定め、近隣の清掃活動や福祉施設の支援活動など、国内外の事業所が地域に根ざした様々な社会貢献活動を行っています。大崎事業所では、大崎エリアマネージメント様が進める「お花いっぱい大崎」に継続して参加しています。2022 年度も社員と家族で楽しく参加し、『優しく美しいまち大崎に』と願いを込めました。



B-Rサーティワン アイスクリーム株式会社

フードドライブ・子ども食堂サポート・しながわ花海道

当社モットーである “We make people happy.” の実践を目指し、人に優しく、地球に優しい、ホスピタリティに満ちた社会を目指し貢献してゆきます。昨年は当社関連団体である一般社団法人 miraie を通じ、フードドライブ・子ども食堂サポート・しながわ花海道に取り組みさせて頂きました。これらの経験をもとに、協議会会員様・品川区と連携をしながら、更なる活動の展開を目指してゆきます。



株式会社日立システムズ

「人づくりって、未来づくり」次世代人財育成への貢献

科学のおもしろさを伝える「小学生向け IT 教室」、働く喜びや意義を伝える「中高生向け企業訪問受け入れ」、学校での学びが社会にどう生かせるかを体験する学芸「高校生向けデータサイエンス出前授業」や「高校生向け AI 授業」など、未来の大人たちと真剣に向き合う活動を展開しています。



株式会社日立社会情報サービス

「インターネットの安心・安全な使い方」講座への講師派遣

一般財団法人マルチメディア振興センターが推進する「インターネットの安心・安全な使い方」講座は、ケータイ依存、ネットいじめ、ネット詐欺などのトラブルから子どもたちを守るために実施している、インターネット利用に関する啓発の活動です。当社は、ICTの知識を生かし、この活動に協力しています。首都圏の小学校のセーフティ教室などに認定を受けた社員ボランティアを講師として派遣しています。



株式会社日立ソリューションズ

しながわドリームジョブへの協力

城南小学校、台場小学校、浅間台小学校で開催された品川区のキャリア教育「しながわドリームジョブ」に協力しました。当社でホワイトハッカーとして活躍する社員が教室やオンライン会議で参加し、仕事の魅力や大切にしていることについて話しました。参加した児童からも、積極的に質問をしていただき、活発な授業風景となりました。



株式会社日立ソリューションズ・クリエイト

未来のICT人財・次世代人財育成の支援

高校生にICTスキルを楽しみながら身に付けてもらうことを目的とした競技イベント「シンギュラリティバトルクエスト」（同実行委員会主催、年1回開催）において、当社の強み技術である「AI」と「サイバーセキュリティ」の競技の企画・開発、イベント運営支援を行っています。また、2017年から連続出場している日本最大級のセキュリティCTF大会（SECCON CTF）の2022年ゴールドスポンサーとなり、レベルの高いセキュリティ人財の発掘・育成・技術の場の提供へ貢献しています。



ピツニーボウズジャパン株式会社

本業を通じた社会貢献活動

当社の主力製品である「郵便料金計器」をNPO団体に無償レンタル提供し、団体職員の方々の負担軽減、業務効率化に貢献し、運営をサポートしています。また、日本郵趣協会主催「ゆうびん de 自由研究・作品コンテスト」に協賛の上、表彰式イベント内で「お手紙ワークショップ」を実施し、「郵便料金計器」の体験とともに子どもに手書きの手紙の良さを伝える活動等、郵便に関わるビジネスを展開する当社の本業を生かした貢献活動に力を入れています。



無償レンタル提供した
SendPro® C

提供機器には協力関係を示す
特別な印影を設定

株式会社フォーカスシステムズ

未来のより良い環境作りに貢献

当社は、企業の社会的責任（CSR）を果たす一環として、主に以下の取組みに代表される活動を通して、広く地域社会にも貢献できる企業を目指しております。

- ①女性活躍の推進（次世代認定マーク『くるみん』や『えるぼし』等の取得）
- ②農業を通じた障害者の雇用創出・活躍支援とその広報
- ③省エネ、省資源、廃棄物削減等各種環境に配慮した取組み



富士電機株式会社

次世代育成支援活動

日野学園で開催された中学生向けキャリアイベント「ドリームジョブツアー」に参加しました。これは品川区の企業が講師を派遣し仕事の意義や働くことの魅力を伝えるものです。当社の講師は長い海外生活で培った価値観や仕事のやりがいなどを説明しました。日頃接点のない社会人との対話は生徒のみなさんにとって大きな刺激となったようです。当社は今後もさまざまな次世代育成支援活動に積極的に取り組んでまいります。



株式会社ブロードリーフ

企業参画型の地球環境保全活動「GrowLeaf」の運営

SDGsの一つ「陸の豊かさを守ろう」に関連する取り組みとして、2008年より認定NPO法人環境リレーションズ研究所が運営する森林再生プロジェクト「PresentTree」を通じて、会員企業様と植樹活動を継続しております。コロナ禍においても、緑化や里山の重要性を学ぶとともに、福祉施設で育てた広葉樹の苗木を自分達の手で植えて育てる、ミニ里山づくりオンラインワークショップを定期開催しております。



株式会社文化堂

社会福祉法人等への寄付

2010年より、10年間、毎年、品川区総合福祉センター様・社会福祉法人六踏園様に定期的にお菓子や食料品を贈呈させて頂いております。弊社の担当者が直接施設をご訪問させて頂き、皆様と情報交換することで、改めて福祉活動の重要性を勉強させて頂いております。頂いた情報を社内で話し合い、より深い取り組みができるように社内報等を通じて、全スタッフにも、しっかり伝えております。今後も品川区と連携し継続して社会福祉活動に微力ながら努めて参ります。ありがとうございます。



ホーチキ株式会社

- ①清掃活動／
- ②エコキャップ回収によるワクチン寄付 など

- ①年4回会社周辺歩道のゴミ拾い
- ②ペットボトルキャップを回収し、回収業者がリサイクル資源として売却。売却益がJVCへの寄付となりJVCがワクチンを発注（キャップ1000個でワクチン1人分）



本多通信工業株式会社

献血活動、ペットボトルキャップおよびベルマークの回収

当社では、長年にわたり献血活動や、ペットボトルキャップおよびベルマークの回収などを行い、社会貢献活動に取り組んでいます。引き続き今後とも活動してまいります。



前田道路株式会社

献血活動

弊社では、社会貢献活動の一環として、東京都赤十字血液センターにご協力をいただき、本店ビル前にて前年と同様 2020 年 7 月に献血活動を実施しました。当社の社員だけではなく近隣の方々を含めご協力をいただきました。今後も継続的に実施し、地域社会に貢献して参ります。



美鈴工業株式会社

清掃活動

キャリア教育の一環として、「しながわ寺子屋」「しながわ職場あるき」、東商「リレーションプログラム」に参画し、出前授業、Web 授業、企業訪問の受け入れを行っています。学生の方々に、商社の仕事、ものづくりのプロセスの学習を通して、様々な職業による社会へのお役立ちの姿や職業観・仕事観の醸成をご支援しています。



みずほ銀行 品川支店

特殊詐欺被害の未然防止

従来より品川警察署と緊密に連携し、特殊詐欺被害の未然防止に取り組んでいます。訓練等により防犯意識を高め、地域の皆様へ安心・安全な金融サービスが提供出来るよう努めております。



明治安田生命保険相互会社 品川支社

「ひとに健康を、まちに元気を」をお届けする活動

明治安田生命品川支社では、品川区ならびに品川区社会福祉協議会に対し「私の地元応援募金(従業員募金と会社拠出のマッチング寄付)」寄贈を一昨年度より実施しており、しあわせ食卓事業や子ども食堂への支援にご活用いただきました。8 月に開催したチャリティバザーには障がい者支援の一環として福祉ショップテルベさまにもご出展いただくとともに売上金を品川区社会福祉協議会に寄付いたしました。また、フードドライブ活動による子ども食堂への食材寄贈、子どもや高齢者の地域見守り活動などにも継続的に取り組んでいます。



株式会社明電舎

明電舎ものづくり教室

当社は、2007 年から NPO 法人コアネットとともに小学 6 年生を対象としたものづくり教室を開催しています。従業員とコアネットのメンバーがインストラクターとなり、モータで動くロボット・キットの組立をサポートします。品川区では例年 4～5 校で開催しており、全国でこれまで 1 万人を超える子ども達にものづくりの楽しさを体験していただいています。なお、この 3 年は新型コロナウイルスの影響で開催が見送られております。



株式会社モスフードサービス

しながわ子ども食堂への支援を継続

全国のモスバーガー店舗では地域に根差した活動を実践しています。品川区にある本社として、区が活動を支援している子ども食堂へ手指消毒用アルコールを提供するとともに、子ども食堂の運営者向けにグループ会社の株式会社エム・エイチ・エスによる衛生講習会の開催などを支援しています。また、エコキャップや使用済み切手の寄付など、今後も継続的に地域のお役に立てるような活動に取り組んでいきます。



株式会社ルネサンス

事業活動を通じて、全ての人々の生きがい創造に貢献します

ルネサンスは創業以来、「生きがい創造企業」を理念に、様々な事業を通して「地域を健康に！」することを目指しています。

急速に進行する少子高齢社会において、「健康寿命の延伸」に寄与すべく、品川区内においても高齢者の認知機能低下予防のプログラム提供や、健康大学しながわなど地域の健康づくりを展開しております。

また、身近なところでできる活動として、地域の清掃など地域密着の活動も行い、幅広い社会貢献を目指しております。



レンフロ・ジャパン株式会社

品川総合福祉センターへの靴下の寄付

2021 年より、例年当社で生産過程で量産されるサンプルソックスを品川区にある総合福祉センターへ寄付させて頂きました。アパレル業界では大量の余剰商品の廃棄などが以前より懸念材料としてあり、リサイクルも含め何か喜んでいただける形で再利用できないか、長年模索していました。2020 年 7 月の熊本県での豪雨による災害で被害を受けられた方へ寄付をさせて頂いた事をきっかけに被害に遭われた方以外にもニーズがあるのではないかと品川区総合福祉センターへ問合せをし、ご快諾され、寄付が実現致しました。それ以降継続してご連絡させて頂いています。



株式会社ローソン

①品川区しあわせ食卓事業／②立会川側道で花苗植え

①2021 年に品川区と「子どもの食の支援に関する合意書」を締結。2023 年 2 月に 4 回目となる「しあわせ食卓事業」を実施。食品ロス削減・子どもの貧困の課題解決に向けて、オリジナル菓子やウェットティッシュなどを箱詰めし、約 420 世帯にお届けしました。

②2022 年 3 月に、NPO 法人しながわ海道、浜川中学校の皆さんと一緒に 600 株の苗を植えるプロジェクトを実施（前年に続き 2 回目）。苗代の一部を寄付し、地域の皆さんと活動を行いました。



ロジスティックスオペレーションサービス株式会社

品川区社会福祉協議会への使用済み切手寄付

全国約 40 拠点の広域ネットワークを構える弊社では、郵便物を用いたやり取りが頻繁に発生します。弊社では、この際に生じる使用済み切手を品川区社会福祉協議会に寄付しました。使用済み切手の売却金は地域で必要とされる方への敬老杖の購入等に役立てられます。テレワークやペーパーレスの推進等により、切手の使用は減少傾向にあります。地域社会へ貢献活動のひとつとして、引き続き取り組んでまいります。



しながわCSR推進協議会 活動レポート2022

令和4年度のしながわCSR推進協議会の活動は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、書面開催等、一部実施方法を変更しています。そのため、実施できなかった活動については、参考までに過去の実施の様態を掲載させていただいておりますので、ご了承ください。

総会を書面開催

令和4年7月26日(火)に令和4年度しながわCSR推進協議会の総会を書面で開催しました。

令和3年度の総会以降に新規入会した企業の紹介や令和3年度の協議会活動報告、令和4年度の協議会活動予定について報告しました。また、会員企業の東京サラヤ株式会社や株式会社サンリオからは、自社で行った社会貢献活動に関する報告がありました。

〈議 題〉

- (1) しながわCSR推進協議会新規会員紹介
- (2) 令和3年度しながわCSR推進協議会の活動報告について
 - ①総会 ②幹事会 ③CSR講演会と活動事例発表会 ④課題別分科会
 - ⑤合同活動（しながわ花海道美化活動） ⑥パネル展 ⑦その他（情報発信等について）
- (3) 令和4年度しながわCSR推進協議会の活動予定について
 - ①幹事会 ②CSR講演会と活動事例発表会 ③課題別分科会 ④合同活動 ⑤パネル展
 - ⑥メールマガジン ⑦パンフレット
- (4) 企業からのお知らせ
 - ・東京サラヤ株式会社
 - ・株式会社サンリオ
- (5) 区からのお知らせ

会場開催の様子（令和元年度）



幹事会をオンライン開催

平成 29 年 10 月、協議会会員企業の様々な社会貢献活動の要望に応えるとともに、協議会活動の活性化を図り企業の協議会運営への参加を推進することを目的として、幹事会が設置されました。会員企業のうち 13 社(令和 5 年 3 月 1 日現在)が幹事企業になっています。

令和 4 年 5 月 30 日(月)、令和 4 年度第 1 回幹事会をオンラインで開催し、しながわ CSR 推進協議会の事業である「CSR 講演会」や「課題別分科会」、「合同活動」について検討を行い、それぞれのテーマや実施の方向性などを確認しました。

〈議 題〉

- | | |
|-------------------------|--------------------|
| (1) 令和 4 年度の活動予定について(案) | (4) 課題別分科会のテーマについて |
| (2) 総会の開催方法について | (5) 合同活動の内容について |
| (3) 講演会のテーマ・講師候補者について | (6) その他(意見交換) |

令和 5 年 3 月 7 日(火)、令和 4 年度第 2 回幹事会をオンラインで開催し、令和 4 年度の活動実績報告のほか、令和 5 年度の活動予定の方向性や協議会活動に関する意見交換を行いました。

〈議 題〉

- | | |
|---------------------------|------------------------|
| (1) 令和 4 年度協議会活動の実績報告について | (3) その他(CSR に関する意見交換等) |
| (2) 令和 5 年度活動予定について(案) | |

令和 4 年度第 1 回幹事会オンライン開催の様子



令和元年度に区役所で会場開催した幹事会の様子



< 幹事企業一覧 > (50 音順)

池田印刷株式会社、SMK 株式会社、3 Mジャパングループ、ソニーグループ株式会社、東京サラヤ株式会社、株式会社トリドールホールディングス、日本ペイントコーポレートソリューションズ株式会社、株式会社フォーカスシステムズ、株式会社文化堂、本多通信工業株式会社、株式会社モスフードサービス、株式会社ローソン、ロジスティックスオペレーションサービス株式会社

CSR講演会と活動事例発表会を開催

令和5年2月7日(火)、スクエア荏原ひらつかホールにて、CSR講演会と活動事例発表会を開催しました。

○第一部 CSR講演会



テーマ

企業における防災とCSR活動
～過去の災害から私たちが学んだこと～

講師

防災士・防災アドバイザー
岡部 梨恵子 氏

地震、津波、集中豪雨などの災害が起きると、人的被害や建物の倒壊に加え、ライフラインや公共交通機関の停止、帰宅困難といった多くの問題が発生します。このような問題に対して、個人や企業の従業員ができることに加え、CSRの観点から住民や企業を含めた地域防災について、ご講演いただきました。

(以下、講演内容抜粋)

災害大国の日本では、大雨、大雪、台風、猛暑など、あらゆることを想定し、備えをしなければなりません。その中でも、やはり最も気をつけるべき災害の一つが地震だと思います。東日本大震災では、発生直後の避難者はおよそ47万人でした。今後、首都圏直下地震が起こったらどうなるでしょうか。2012年に発表された想定避難者数は720万人であり、東日本大震災の約15倍。2022年にこの想定避難者数は10年ぶりに見直され、住宅の耐震化率の上昇などの要因により、299万人に下がりました。しかし、東京都の場合、避難所の収容可能人数を踏まえると、圧倒的多数の方が避難所には入れません。一人ひとりがきちんと防災グッズや食料備蓄、心構えなどをする必要があります。

いざ災害が起こった時の人間の心理を考えていきます。大地震が発生した時、人はなかなか「緊急スイッチ」が入らず、心の中では急いでいるけれど、足が前に出ないということが起きてしまいます。逆に緊急スイッチが押せる人は、とっさに頭を覆い、倒れそうなものから離れることができます。サバイバル10-80-10理論でも、人が極限状態に置かれた時、10%が冷静に正しい行動ができ、80%は凍りつき動けず、残りの10%はパニックに陥ってしまいます。そのような心理があるということを知っているだけでも自分の行動が変わりますので、覚えておいていただきたいと思います。

次に、職場で被害を最小限にする心構えについて。全ての従業員が、会社の行動基準を理解し、自分の役目をしっかりやるのが大切です。防災訓練は真剣に取り組み、当事者意識を持って実施してください。

企業における備蓄については、一般的には3日分は用意しておいた方がいいと言われています。災害後72時間は行方不明者や生き埋めになっている人を優先に人命救助がされ、職場で助かっている人はその後になるためです。また、水については、1人3リットル×3日分、つまり9リットルを人数分、最低限必要ですが、猛暑時を考えるともっと準備しておくべきだと思います。賞味期限が短いと入れ替えるのが大変ですので、10年や15年保存のものがお勧めです。食料備蓄については、アレルギーやビーガンの方の備蓄食、胃に優しいおかゆやゼリーなども必要となる場合があります。



それらをどこに備蓄するのがいいか。理想は各部署に備蓄することです。備蓄の担当者が総務課だとすると、総務課の人が誰も来ないとなった場合、倉庫の鍵が開かないなどの問題が発生するかもしれません。各部署が責任を持ち、備蓄するのが望ましいです。

非常用トイレについては、衛生面、におい、処理のしやすさなどを考え、選ぶ必要があります。トイレットペーパーについても、ものによっては高温多湿によりカビが生えやすいなどがあり、注意が必要です。多くの人が食料品のことばかりを考えてしまいます。しかし、「食べる・飲む」についてはある程度我慢できますが、トイレは我慢できません。今一度、考えてほしいと思います。

そしてここから、企業と地域が連携して行う「地域防災」についてです。東日本大震災の発生時、国や自治体による支援に時間がかかりました。そんな時に、企業による支援で助かったことも多くありました。しかしまずは、個々の企業自身が災害に強くないと地域にも貢献できません。従業員の備蓄、安全確保ができていて、それが第一です。BCP 対策や防災訓練がしっかりされていることも重要です。BCP 対策をしっかり行っていることは、CSR の優良企業である証だと言えます。いざという時にも、事業継続・回復させる力を十分発揮できる企業は、地域社会や日本を支える存在の企業だということです。

そのうえで、地域への貢献を考えていきます。一例にはなりますが、企業における防災に関する CSR 活動の具体的な事例としては次のようなものがあります。

- (1)自治体や地域住民との合同防災訓練
- (2)防災備蓄倉庫の設置場所の提供
- (3)人的資源や物的資源の提供
- (4)被災後の地域住民の救援活動
- (5)防災に関する啓蒙と情報の提供

自社の BCP 対策等をしっかり行ったうえで、上記のような CSR 活動、地域貢献に繋がることを実施していただければと思います。

企業において最優先するのは、従業員とその家族の命です。安否確認システムなどを導入して、従業員と家族の安否が確認できる体制を早期に取ってください。そして、地域の構成員である企業が、防災力を高め、平常時から地域社会と連携しつつ、災害発生時には、行政や地域と一体となって活動していただくことを期待します。

○第二部 活動事例発表会

活動事例発表会では、協議会会員企業を代表して、株式会社サンリオから、社会貢献活動「Sanrio Nakayoku Project」について発表いただきました。

(以下、発表内容抜粋)

株式会社サンリオ グローバルサステナビリティ推進室 井桁 雅貴 氏

1960 年の創業以来、『みんななかよく』という企業理念を掲げています。その中で、当社が行う社会貢献活動を「Sanrio Nakayoku Project」と名付け、「なかよく」を世界中に広めていく活動を実施しています。

そのうちの一つ、Character Aid (キャラクター訪問による心のふれあい)では、ハローキティをはじめとしたキャラクターが病院や児童福祉施設、被災地等を訪問し、心の癒しと笑顔をお届けしています。2022 年 8 月にデザイナー職社員を含む有志社員が児童養護施設品川景德学園を訪問し、サンリオの事業やキャラクターの紹介、イラスト教室などを実施しました。キャラクターが目の前で描かれていく様子に子どもたちは前のめりになり、最後にサプライズでシナモロールが登場した時は、嬉しさと驚きのあまり腰を抜かしてしまった子どももいました。

この品川景德学園での活動は、東京ボランティア・市民活動センターが主催する第 8 回『企業ボランティア・アワード』で「大賞」を受賞しました。これからも、「サンリオらしい」社会貢献活動を実施し、笑顔の輪を広げていきたいと思っています。





課題別分科会（環境）を開催

令和4年12月13日（火）、「環境」をテーマとした分科会を品川区立環境学習交流施設「エコルとごし」で開催しました。13企業17名が参加し、環境活動に対する理解を深めるとともに、意見交換を行いました。

〈内 容〉

- (1) エコルとごし施設見学（案内：エコルとごし館長）
- (2) 品川区環境課からの説明
 - ①若い世代を対象とした環境に関する取り組み
 - ②品川区環境保全活動団体
 - ③環境に関するキーワード「ゼロカーボンシティ」「食品ロス」「脱プラ」「サステナブルファッション」
- (3) キーワードをもとに意見交換

内容(1)では、エコルとごし館長の案内により、施設を見学。館長より、環境配慮に関する建築や設備について説明がありました。エコルとごしでは、品川区と交流のある自治体の建材や家具などを活用したり、東京都・多摩地域で育成した「多摩産材」も使用しており、東京都内における「地産地消」により、東京都全体の林業の活性化や森林の保護につながっています。また、大型映像展示スペースでは、床・壁一面が映像空間となり、参加者が映像にタッチし、体感しながら、地球温暖化などについて学びました。

内容(2)では、品川区環境課より、区やエコルとごしと一緒に、若い世代に向けた環境教育・環境コミュニケーションを行う企業の事例の紹介がありました。区では、エネルギー消費量の削減などの環境についての啓発を強化するため、企業とともに一層の取り組みをしていきたいと考えています。また、環境に関するキーワード「ゼロカーボンシティ」「食品ロス」「脱プラ」「サステナブルファッション」についても説明がありました。

内容(3)では、(2)のキーワードをもとに、2グループに分かれ、意見交換を行いました。参加者からは、「ゼロカーボンなど環境に関するキーワードの意味をもっと周知する必要がある」や「小学校への出前授業や高校との連携を通じて、学生と企業でもっと一緒に環境に関する取り組みができればいいと思う」などさまざまな意見があがりました。



令和4年5月1日オープン！ 品川区立環境学習交流施設エコルとごし

「品川区立環境学習交流施設エコルとごし」は、戸越公園の豊かな自然や体感を重視した展示物をはじめ、環境を楽しみながら学ぶことができる施設です。



問合せ先

品川区都市環境部 環境課 環境推進係

電話：03-5742-6755(直通)

メール：info@ecoru-togoshi.jp

合同活動（しながわ花海道 美化活動に参加）を実施

NPO法人しながわ花海道が主催する「しながわ花海道 美化活動」に参加し、令和4年6月12日(日)にコスモスの種まき、令和4年10月30日(日)に菜の花の種まきを実施しました。

この種まきは、勝島運河沿いの土手、全長約2 km あるしながわ花海道で毎年開催され、1.5メートル四方の区画およそ1,200区画に、地元町会や区内にある立正大学の学生、企業など子どもから大人まで多くの方々が参加しています。

【コスモスの種まき】



< 参加会員企業 > (50 音順)

SMK株式会社、関東日本フード株式会社、株式会社キューブシステム、株式会社サンリオ、シック・ジャパン株式会社、ソニーグループ株式会社、第一ホテル東京シーフォート、大成温調株式会社、東京サラヤ株式会社、日産東京販売ホールディングス株式会社、日本ペイントコーポレートソリューションズ株式会社、日本航空株式会社、日本たばこ産業株式会社 東京支社、株式会社バルカー、株式会社日立ソリューションズ・クリエイト、ピツニーボウズジャパン株式会社、三井金属リサイクル株式会社、株式会社ローソン、ロジスティックスオペレーションサービス株式会社

【菜の花の種まき】



< 参加会員企業 > (50 音順)

SMK株式会社、関東日本フード株式会社、株式会社キューブシステム、黒田グループ株式会社、株式会社サンリオ、ソニーグループ株式会社、大東コーポレートサービス株式会社、日産東京販売ホールディングス株式会社、日本ペイントコーポレートソリューションズ株式会社、日本たばこ産業株式会社 東京支社、B-Rサーティワン アイスクリーム株式会社、株式会社日立ソリューションズ・クリエイト、ピツニーボウズジャパン株式会社、三井金属リサイクル株式会社、株式会社ローソン、ロジスティックスオペレーションサービス株式会社

● 合同活動（清掃美化活動）を実施

令和5年3月1日(水)、「しながわ CSR 推進協議会」の活動の一環として、会員企業による合同活動(清掃美化活動)を3年ぶりに実施しました。

この合同活動（清掃美化活動）は、企業と区が合同で行うことにより、社会貢献活動に対する社員（職員）の意識啓発を図るとともに、協議会の活動を広く PR し、活動を通じて参加者相互の交流や地域への愛着を深めることを目的としています。

7回目の実施となる今回は、28企業と区、あわせて76人が参加し、6グループに分かれ、区立しながわ中央公園を拠点に、大井町駅や戸越公園駅、西大井駅方面などを清掃しました。

参加者は「新型コロナウイルス感染拡大の影響で久しぶりの実施になりましたが、清掃美化活動に参加できてよかったです」「普段の生活ではあまり気が付きませんでした、注意して歩いていると、歩道の植え込みなどにごみが見られました。皆さんには、ぜひごみはごみ箱に捨ててもらいたいです」と感想を話していました。



< 参加会員企業 > (50 音順)

アワーズイン阪急（株式会社大井開発）、SMN株式会社、関東日本フード株式会社、光陽産業株式会社、株式会社サンリオ、相互住宅株式会社、ソーバル株式会社、ソニーグループ株式会社、第一三共株式会社 品川研究開発センター、大成温調株式会社、ツヅキインフォテクノ東日本株式会社、寺田倉庫株式会社、東京サラヤ株式会社、東芝エレベータ株式会社 東京支社、東洋製罐グループホールディングス株式会社、日産東京販売ホールディングス株式会社、株式会社日本アクセス、日本ペイントコーポレートソリューションズ株式会社、日本たばこ産業株式会社 東京支社、B-Rサーティワン アイスクリーム株式会社、株式会社日立社会情報サービス、ピツニーボウズジャパン株式会社、富士電機株式会社、三井金属リサイクル株式会社、三菱総研DCS株式会社、株式会社明電舎、株式会社ローソン、ロジスティックスオペレーションサービス株式会社

